



碧南ロータリークラブ週報

第2491回例会 平成22年3月3日(水)

● 会長 鈴木 並生 ● 幹事 長田 豊治 ● 会場監督 (SAA) 新美 真司

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 岡本明弘・新美雅浩・大澤明敬・西脇博正



2009-2010年度
国際ロータリーのテーマ
THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

● 齊 唱

国歌「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

● 四つのテスト唱和

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

碧南市市史資料調査室 浅井久夫氏

新入会員入会式



亀山会員増強委員長



新美孝推薦者



竹中誠推薦者



新入会員 杉浦保子君



新入会員 鈴木宏枝君

会 長 挨拶

3月に入り、春はすぐそこと思える暖かい日が続いております。さて、本日2名の新入会員をお迎えすることができました。碧南RCとしては、実質的に初めての女性会員の誕生です。会員増強委員長さん、推薦者の新美さん、竹中さんにはお骨折り頂き、ありがとうございました。特に女性第一号の推薦を大先輩の新美さんにして頂いた事は、大変意義深いことだと感謝しております。2760地区内82クラブのうち



鈴木並生会長

約50のクラブにすでに女性会員が活躍されて見えます。ガバナー公式訪問時には必ず質問されていましたが、これからは肩身の狭い思いをしなくてすみます。

先ほど、杉浦さん、鈴木さんにはご挨拶いただきましたが、お二人ともお父様がロータリーのメンバーでした。杉浦さんはお父様のネクタイで作った袋にバッジを入れ、鈴木さんも私が渡す前にお父様のバッジをすでにつけておられました。やはり、女性ならではの気遣いやお父様を思う心は、男にはないものだと感じました。これからは、女性目から見たいろいろなご意見を頂いて、社会に受け入れられるクラブの奉仕活動に反映できることを期待しております。ぜひ頑張ってください。

本日は第一例会で時間もありませんので、会長挨拶は以上で終わります。

幹事報告

- 例会変更等はお手元の幹事報告を参照下さい。
- 来週例会終了後、石橋建設興業さんの骨折りで記念植樹をあおいパークで行います。
お時間のある方は、ご参加下さいます様をお願いします。
- 本日例会終了後、理事会を開催しますので、役員の方はご参集願います。



長田豊治幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数76名(内出席免除者14名の内出席者9名)出席者64名

出席対象者 64/70名	出席率 91.43%
--------------	------------

欠席者12名(病欠者1名)	前々回修正出席率 96.97%
---------------	-----------------

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

- 新美 孝君 当クラブ女性会員第1号 杉浦保子様をご紹介致します。
- 鈴木 並生君 うれしい事がありました。
- 石川 春久君 奥田雪雄さんに大変お世話になりました。
- 伊藤 正幸君 2月度ゴルフ例会にて優勝させて頂きました。ありがとうございました。
- 平岩 辰之君 本日の講師の浅井久夫様をご紹介させて頂きます。
- 新美 惣英君 3月1日皆様のおかげをもちまして、娘が授業料を滞納することなく高校の卒業証書を受け取る事ができました。引き続き大学の授業料が払えますよう、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。
- 竹中 誠君 クラブ女性会員第2号、鈴木宏枝さんのご紹介をさせて頂きます。
- 榊原 健君 2月27日キャッチネットワークの少年サッカー大会にて碧南チームが準決で刈谷、決勝で安城チームを大差でやぶり優勝しました。大会長としてとても喜ばしく思い子供達に金メダルをかけてやりました。
- 杉浦 保子君 入会させて頂きます。よろしくお願い致します。
- 鈴木 宏枝君 入会させて頂きます。よろしくお願い致します。

〈親睦活動委員会〉

会員誕生日

2日 杉浦 保子君 10日 栗田 政志君 15日 小笠原良治君 16日 黒田 泰弘君
20日 平松 太君 22日 栗津 康之君 24日 菅原 優君

奥様誕生日

9日 西脇 博正君の奥様京子様 10日 犬塚 敦統君の奥様清子様

13日 奥谷 弘和君の奥様由紀子様 24日 小笠原良治君の奥様恵子様
29日 大竹 密貴君の奥様弥生様

結婚記念日

14日 坂本 利彦君・光代様 39年 16日 長田 徳雄君・利子様 50年（金婚）
16日 長田 和徳君・真由美様 19年 20日 平岩 辰之君・範江様 27年
27日 加藤丈太郎君・美恵子様 47年 27日 杉浦 晴彦君・有実様 33年

入会記念日

3日 小林 清君 3日 杉浦 保子君 3日 鈴木 宏枝君
5日 山中 寛三君 7日 矢埜 隆君 11日 石川 春久君
15日 杉浦 求君 15日 鈴木 敏弘君 15日 平岩統一郎君
18日 鈴木 並生君 25日 菅原 優君

卓 話

「藤井達吉翁、その人と思想—今、なぜ達吉翁なのか」

碧南市市史資料調査室 浅井 久夫氏

私は最終勤務校が棚尾小学校ということで、平成18年に子供向けの「藤井達吉物語」を執筆しました。本日はその本にそって、今なぜ達吉かという視点から達吉の生き様や思想について述べてみたいと思います。また、直接指導を受けた存命の方で小原の山内一生さん、加納俊治さん、瀬戸の栗木伎茶夫さんが「達吉翁を語る」という本を出されました。私がおその編集に関わったということで、それについても触れてみたいと思います。



明治14年（1881）、達吉は碧海郡棚尾村（現 源氏町）に生まれました。小さい頃は「凧吉」「針吉」などと言われ、手先の器用さ、芸術への好奇心が垣間見られました。美術学校に行きたかったのですが、経済的なこともあり、七宝店に勤めることになりました。

23歳のとき、明治37年のセントルイス万博に行き、美術・芸術に開眼しました。「自然が先生」だという信念から独学で自らの芸術を創り上げていきました。当時工芸は職人が手がけるものだと思われていましたが、すべてを一人で創り上げることを提唱し、工芸を芸術に高める主張をしました。紆余曲折の後、達吉たちの努力で帝展に工芸部門が新設されることになりました。いろいろな軋轢の中、中央から決別することになります。しかし、一流の芸術家との交わりや手芸界の開拓者として、またスポンサーがつくなど、達吉の芸術は認められていきました。

郷土碧南に対しては、ふるさとの産業を何とかしたいと郷土工芸の振興を願い、碧南国民学校の開校に際して、「窯業科」設置を嘆願したりしましたが、拒否されふるさとへの失望を重ねていきます。しかし、そんな中平岩幸左衛門（平岩慶一氏の祖父）氏の寿像を弟子たちが建立したことに、達吉はいたく感動し、新しいふるさとを発見します。

達吉64歳のとき（昭和20年）小原に5年程滞在し、番傘用・障子紙用の和紙づくりから和紙工芸へ若い村人を指導しました。加納氏や山内氏など偉大な和紙工芸家を生み出したのです。

69歳から6年程碧南道場山に住まいし、いろんな人々と交わります。碧南に美術館を作り、作品の寄贈を申し出ましたが、断られ、県美術館や他市へ作品等が流れてしまいました。

先を見抜く目

- ①アレルギーの予見 ②物質文明・大量消費型社会への批判 ③地方の産業復興
- ④個性の重要性 ⑤自然主義 ⑥「土」 ⑦拝金主義への批判 ⑧学歴社会への批判
- ⑨高齢化社会を予想

達吉の思想と人物像

①生きることは芸術なり ②物は永遠の力なり ③品格 ④変人？奇人？

晩年、遍路の旅を10回くらいしています。人生は旅なり、生涯独身で通した達吉の人生は、無常観に満ちたものでした。昭和39年、岡崎にて83歳の生涯を閉じました。長田三和子氏と、そのお母さんは病室を見舞い、自分の庭から持っていった鶏頭の花を見て亡くなりました。

山内氏・藤井先生とは

- ・物（和紙や土）に付加価値をつけよ。
- ・芸術作品とは量ではなく、質だ。（人間の手で作ってこそ）
- ・未来を見通す力（予言者）

加納氏・先生の考え

- ・お金は使い方によって善にも悪にもなる。（社会に還元されてこそ）
- ・人生とは、合理ばかりではなく、より美しく、より正しく生きるべし。
- ・碧南は、美を語り、美を讃え合える感性豊かなモデル市になるべし。

栗木氏にとって藤井先生は

- ・いくら厳しく言われても、藤井先生は物心両面における一生の恩人。

最後に、加納先生が碧南に藤井達吉という名の現代美術館ができたことは、藤井先生の弟子として大変うれしい事だと言っておられました。達吉の作品、生き様、思想を学べる拠点としての美術館になってほしいと強く希望されておりました事を紹介させていただきます。

本日はありがとうございました。

次回例会案内 平成22年3月17日（水）

卓話「クリーンセンターの現状」

衣浦衛生組合 業務課長 石川憲生氏

衣浦衛生組合 業務課長補佐 深津英明氏